

小児看護学援助論 I

2020 年度入学 2 年次	単位	1 単位 (30 時間)	講師	小樽市立病院医師	実務経験の有無
					有
I. 学習目的 小児各期に特有な健康障害の病態・症状・診断・治療について学ぶ。					
II. 学習目標 1. 小児各期に特有な健康障害の病態・症状・診断・治療について理解する。					
III. 学習内容 1. 染色体異常・新生児 2. 代謝・内分泌疾患 3. 感染症 4. 予防接種 5. 呼吸器疾患 6. 循環器疾患 7. 消化器疾患 ① 8. 消化器疾患 ② 9. 血液・悪性疾患 10. 腎・泌尿器疾患 11. 神経疾患 12. 免疫・アレルギー疾患 13. 運動器・皮膚疾患 14. 眼・耳鼻咽喉科疾患、事故 15. 移植医療					
IV. 評価方法：筆記試験					
V. 教材：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 医学書院					

小児看護学援助論Ⅱ

2020 年度入学 2 年次	単位	1 単位（30 時間）	講師	小泉 由美 小樽市立病院看護師 須貝 素	実務経験の有無 有
<p>I. 学習目的</p> <p>小児各期に特有な健康障害を持つ小児と家族に対して、発達段階を踏まえた個別的な看護援助を学ぶ。</p>					
<p>II. 学習目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康障害が小児と家族に与える影響を理解する。 2. 健康段階に応じた看護について理解する。 3. 健康障害をもつ小児と家族への看護援助を理解する。 					
<p>III. 学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外来における小児の看護 2. 周手術期の小児の看護 3. 急性症状のある小児の看護① 4. 急性症状のある小児の看護② 5. 感染症をもつ小児の看護（予防接種） 6. 先天的な健康問題をもつ小児の看護 7. ハイリスク新生児への看護 8. 心身障害のある小児の看護 9. 痛みのある小児の看護 10. 成人への移行期にある小児の看護 11. 災害時における小児の看護 12. 事例に対する援助技術① 13. 事例に対する援助技術② 14. 事例に対する援助技術③ 15. 終末期にある小児の看護 					
<p>IV. 評価方法：筆記試験 90%、提出物・学習姿勢 10%</p>					
<p>V. 教材：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 医学書院</p>					

小児看護学援助論Ⅲ（看護過程）

2020 年度入学 2 年次	単位	1 単位（1 5 時間）	講師	須 貝 素	実務経験の有無
					有
I. 学習目的 健康障害を持つ子どもと家族の事例の看護過程を展開し、看護の必要性を考える。					
II. 学習目標 1. 健康障害のある子どもと家族に対するアセスメント能力を身につける。 2. 健康障害のある子どもと家族への看護過程の展開について理解できる。					
III. 学習内容 1. 子どもの身体的特徴と疾患との関連に関するアセスメント① 2. 子どもの身体的特徴と疾患との関連に関するアセスメント② 3. 子どもの身体的特徴と疾患との関連に関するアセスメント③ 4. 子どもの身体的特徴と疾患との関連に関するアセスメント④ 5. 子どもの心理的特徴と成長発達を育む視点のアセスメント 6. 関連図 7. 全体像と看護問題の抽出 8. 看護計画の立案					
IV. 評価方法：提出物 80%、参加姿勢 20%					
V. 教材：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 医学書院					

小児看護学概論

2021年度入学 1年次	単位	1単位（30時間）	講師	須貝 素	実務経験の有無
					有
<p>I. 学習目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児と家族の看護の概念を理解し、小児の健康生活と発達を支える社会・環境・保健・医療・福祉について学ぶ。 2. 小児各期の成長・発達の特徴を理解し、健康増進のための看護について学ぶ。 					
<p>II. 学習目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児保健医療の歴史の変遷について理解できる。 2. 小児看護の理念と役割について理解できる。 3. 小児看護における倫理について理解できる。 4. 小児と家族の特徴及び、小児各期の成長発達について理解できる。 5. 小児各期の生活習慣と生活指導について理解できる。 6. 小児保健医療の動向について理解できる。 7. 小児と家族を取り巻く社会的課題について理解できる。 					
<p>III. 学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の歴史と意義、小児保健医療・子ども観の変遷 2. 小児看護の理念、子どもの権利 3. 小児看護における倫理 4. 小児の成長・発達 5. 小児の発達理論 6. 乳幼児の成長・発達① 7. 乳幼児の成長・発達② 8. 乳幼児の成長・発達③ 9. 小児の栄養と食事 10. 小児の事故 11. 学童期・思春期の成長・発達 12. 小児と家族を取り巻く社会 13. 成長ストーリーの作成 14. 成長ストーリーの発表 15. まとめ 					
<p>IV. 評価方法：筆記試験 90%、提出物・学習姿勢 10%</p>					
<p>V. 教材： 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 医学書院</p>					